

株式会社 北九州輸入促進センター

I 法人の概要（平成 31 年 4 月 1 日現在）

1 所在地

北九州市小倉北区浅野三丁目 8 番 1 号

2 設立年月日

平成 5 年 4 月 26 日

3 代表者

代表取締役社長 淵 義雄

4 資本金

6,600,000 千円

5 北九州市の出資金

1,876,700 千円（出資の割合 28.4%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	10 人	0 人	2 人	8 人
常 勤	2 人	0 人	2 人	0 人
非常勤	8 人	0 人	0 人	8 人
職 員	10 人	0 人	3 人	7 人

7 市からのミッション

小倉駅新幹線ロエリアにおけるまちづくりの中核施設として、新たな「ビジネス」「交流」「人材」「モノ」を創出・育成する「はぐくみの拠点AIM」という、市が定めたビルコンセプトに基づいたテナント誘致を行い、健全な経営のもと、AIMビルの管理・運営を行う。

II 平成 30 年度事業実績

当社は、アジア太平洋インポートマート流通センター棟（AIMビル）の管理・運営実施主体として、国際ビジネスサポート等を目的に、地域の経済活性化や国際化に寄与する以下の事業を行っている。

- ・国際ビジネスのサポートサービス事業
- ・不動産賃貸事業
- ・小倉駅新幹線口地区のにぎわいづくり支援

このような状況の中、事業状況については、一部のテナントが退去したものの、大型新規テナントの入居や館内企業の移転増床を達成できた。

以上の結果、当期の売上高は 1,263,573 千円、営業利益 255,934 千円、経常利益 212,771 千円、当期純利益は、136,782 千円となり、8 期連続の黒字を達成し、安定した経営を継続できた。

Ⅲ 平成 30 年度決算

1 貸借対照表(総括表)

平成 31 年 3 月 31 日現在 (単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	815,954,041	流動負債	896,309,865
現金及び預金	777,931,460	短期借入金	533,640,000
未収金	20,269,685	未払金	164,058,686
その他	17,752,896	前受金	72,415,736
		賞与引当金	1,060,329
		未払法人税等	55,045,100
		リース債務	19,659,114
		その他	50,430,900
固定資産	7,853,155,546	固定負債	2,119,345,488
(有形固定資産)	(7,839,471,400)	長期借入金	1,573,014,000
建物	7,829,037,929	退職給付引当金	2,312,194
構築物	3,095,639	預り敷金	400,953,313
車両運搬具	702,779	リース債務	143,065,981
工具器具備品	6,635,053		
(無形固定資産)	(1,019,200)	負債合計	3,015,655,353
電話加入権	1,019,200	純資産の部	
(投資その他の資産)	(12,664,946)	株主資本	5,653,454,234
繰延税金資産	7,864,650	資本金	6,600,000,000
長期前払費用	4,791,296	利益剰余金	▲946,545,766
その他	9,000	その他利益剰余金	▲946,545,766
		繰越利益剰余金	▲946,545,766
		純資産合計	5,653,454,234
資産合計	8,669,109,587	負債及び純資産合計	8,669,109,587

2 損益計算書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日 (単位: 円)

科 目	金 額	
売 上 高		1,263,573,861
売 上 原 価		892,131,803
売 上 総 利 益		371,442,058
販売費及び一般管理費		115,507,234
営 業 利 益		255,934,824
営 業 外 収 益		
有価証券利息	200,275	
雑 収 入	2,498,461	2,698,736
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	45,861,723	45,861,723
経 常 利 益		212,771,837
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	1	1
税 引 前 当 期 純 利 益		212,771,836
法人税、住民税及び事業税	76,745,568	
法 人 税 等 調 整 額	▲756,362	75,989,206
当 期 純 利 益		136,782,630

IV 令和元年度事業計画

(1) 売上高の確保

平成 30 年度は、大口テナントの退去に伴う売上の減少が響き、下期に新規テナントが入居したものの、売上高は前期比▲1.8%となった。

令和元年度は、下期に小倉駅南口の再開発ビルの完成に伴い大型テナントが退去するため、新規テナントを誘致し、売上高の確保に努める。

(2) 貸室の区画整備及びビルの適確な維持管理

平成 30 年度は、1 階、5 階、7 階フロアの区画整備を進め、新規テナントの入居や館内増床につなげた。また、経年劣化している防犯カメラシステムを更新した。

令和元年度は、前年度に引き続き 2 階レストラン跡地をオフィスに転換する工事や旧商業区画をオフィス化する工事を進める。また、災害時の円滑な避難に資するため、非常階段の電子錠の設置工事を実施する。

V 令和元年度予算

予定損益計算書

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日 (単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		1,294,447
売 上 原 価 販売費及び一般管理費		1,034,537
営 業 利 益		259,910
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	0	0
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	41,056	41,056
経 常 利 益		218,854
特 別 利 益	0	0
特 別 損 失	0	0
税 引 前 当 期 損 益		218,854
法 人 税 等	65,605	65,605
当 期 利 益		153,249

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示

VI 役員名簿

令和元年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	淵 義 雄	(株)北九州輸入促進センター
取締役	鮎 川 典 明	北九州市 産業経済局長
〃	岩 永 龍 治	福岡県 商工部長
〃	上 原 賢 治	山九(株) 九州エリア開発営業部長
〃	植 本 敏 紀	(株)上組 門司支店長
〃	笹 渕 賢 一	(株)福岡銀行 北九州本部副本部長
〃	田 坂 良 昭	不二貿易(株) 代表取締役会長
〃	土 井 修	(株)西日本シティ銀行 北九州総本部副本部長
〃	三 好 忠 満	日本製鉄(株) 八幡製鉄所総務部長
監査役	石 松 秀 喜	(株)北九州輸入促進センター
〃	末 次 隆	西部瓦斯(株) 北九州総務部長
〃	田 邊 雅 一	(株)みずほ銀行 北九州支店長
〃	吉 田 彰 宏	(株)北九州銀行 取締役監査等委員